

2月定例会本会議(3月23日) 岡田ゆき子議員

日本共産党が予算組み替え動議を提出

金持ち減税を中止し、 国保料引き下げや給食費無料化などを提案



日本共産党名古屋市議団は3月23日、予算組み替え動議を提出し、岡田ゆき子議員が提案説明を行いました。

岡田議員は、「市長提案の予算は、大企業・大金持ち減税を続けながら、減税をテコに、市民サービスの削減、福祉の民間委託、民営化を進めるものだ」と批判し、抜本的な予算組み替えを求め、組み替えの基本方向として以下の三点を提示しました。

金持ち減税と減税の財源づくりのための民間委託等をやめる

大企業・大金持ち優遇の市民税5%減税の実施を中止、117億円の増収を増やす。減税財源確保のために行われる公立保育園の民間移管、小学校給食調理業務の外部委託、図書館の指定管理制度を中止。介護保険制

歳出	減額	削減額	捻出される一般会計	市債の削減額
		58億5千万円		23億6千万円
増額		増加額	必要となる一般財源	市債の発行額
		140億6千万円	140億6千万円	0円
差し引き		歳出の増減額	一般財源の増減額	市債の増減額
		82億円	117億円	△28億円
歳入	増額	市民税減税の中止		117億円
	減額	-		-
	差し引き(一般財源の増減額)			117億円

度の要である要介護認定調査事務の委託はやめる。

ムダな大型事業をやめる

新たな浪費につながる、市民生活に不要な大型開発事業は中止し、財政の健全化を図る。県知事との調整も困難となっている新たな大規模展示場整備のための調査費は計上しない。環境問題が懸念される中、リニア開業を見据えたまちづくりの推進はせず、名古屋駅地下公共空間整備は進めない。

生み出した財源で福祉・くらしの予算を増やす

減税と不要な事業の中止で財源を確保し、市民の福祉を守り、くらし、教育、子育て応援、防災のための事業の実施及び施策の拡充を図る。国保料の負担増をやめ、さらに未就学の子どもの均等割保険料を減免する。医療費助成は18歳まで拡充。後期高齢者医療保険料の特例軽減見直しに対し市独自の軽減を行う。小学校給食の無料化、小中学校の少人数学級拡大、住宅リフォーム助成制度を創設し、民間木造住宅の耐震改修助成を大幅に拡充する。

自公民減が反対

組み替え動議は、日本共産党以外の全会派が反対し、否決されました。

組み替えの項目

- ①大企業・大金持ち優遇の市民税5%減税の実施は中止し、減税の財源確保のために行われる公的事業の民間移管、委託等を中止します。
 - (ア)市民税5%減税
 - (イ)公立保育所の社会福祉法人への移管
 - (ウ)小学校給食調理の外部委託
 - (エ)生涯学習センターへの指定管理者制度導入
 - (オ)図書館への指定管理者制度導入
 - (カ)要介護認定事務の委託
 - (キ)新たな保健所体制の構築
- ②新たな税金の浪費につながる大型開発事業、市民生活に不要な事業は中止します。
 - (ア)木曾川水系連絡導水路事業に係る工業用水道事業会計への出資
 - (イ)社会保障・税番号制度の導入に向けた情報連携基盤システムの開発
 - (ウ)社会保障・税番号制度の関連事務
 - (エ)中部国際空港2本目滑走路建設促進期成同盟会への負担金支出
 - (オ)国際展示場第1展示館移転整備等事業者選定準備
 - (カ)空見地区における大規模展示場の整備に関する調査
 - (キ)国直轄道路事業負担金の支出(近畿自動車道伊勢線新設)
 - (ク)リニア中央新幹線開業を見据えたまちづくりの推進
 - (ケ)名古屋駅周辺地下公共空間整備

- (コ)市街地再開発事業(錦二丁目7番地区)
- ③減税中止などで確保した財源を活用し、市民の福祉・くらし・教育・子育て応援・防災のため新たな事業の実施と事業の拡大を図ります。
 - (ア)後期高齢者医療の保険料の特例軽減見直し中止のための繰り出し
 - (イ)国民健康保険料の値上げ中止
 - (ウ)国民健康保険料の子どもに係る均等割の廃止
 - (エ)18歳までの医療費無料化
 - (オ)私立高等学校授業料補助単価の引き上げ・県助成対象外世帯の廃止を中止し全世帯単価の引き上げ
 - (カ)小学校給食費の無料化
 - (キ)小学校3年生までの30人学級拡大と中学校2年生まで35人学級拡大
 - (ク)小・中学校図書館司書の全校配置
 - (ケ)栄養教諭を70人増員
 - (コ)奨学金返還支援制度の創設
 - (サ)商店リフォーム助成、マンションへの支援を含む住宅リフォーム助成の創設
 - (シ)民間木造住宅の耐震改修助成拡充
 - (ス)震災対策事業基金への財源繰り出し
 - (セ)原爆ポスター展の開催費助成
- ④その他
 - (ア)市議の任期中1回の海外視察の中止
 - (イ)市長特別職秘書の廃止